

第1回宇都宮市自治基本条例を考える会議提言書検討委員会（概要）

■ 日時

平成19年12月18日（火）

■ 会場

宇都宮市役所 4階人事課懇談室

■ 出席者

- ・ 委員 井上委員，小針委員，酒井委員，船津委員，砂長委員，塚原委員（委員名簿順）
- ・ 事務局 行政経営課行政改革担当主幹，行政経営課長補佐，行政経営課行政改革グループ係長，文書法制グループ係長，事務局職員

■ 会議経過

1 開会

- ・ 行政経営課長挨拶
- ・ 井上委員長挨拶

2 議事

(1) 副委員長の選出について

船津委員を副委員長に選出

(2) 分科会の検討結果のまとめと、今後の進め方について（資料1，別紙1，別紙2，別紙3，資料2）

ア 資料の説明

事務局より説明

イ 議論

- ・ 各委員で今回の資料を十分に精査し，質問事項や論点を整理して，次回会議に臨むこととした。
- ・ 現段階では，第2回提言書検討委員会で第1分科会の検討部分を，第3回提言書検討委員会で第2・3分科会の検討部分を議論し，必要に応じ第4回目で議論を振り返り，総括するというスケジュール見込みで進めていくこととした。
- ・ 以下の内容を含む形で，事務局が提言書のイメージを複数作成し，次回会議までに委員に提示することとした。

はじめに

提言に至る背景

条例に盛り込むべき事項

議論の経過表

まとめ

委員からの主な意見・質問等（要旨）

- 委員
 - ・ 提言書の中の「提言に至る背景」については、自治基本条例を考える会議の全体会・分科会で議論された内容を活かして作成したいと思う。
- 委員
 - ・ 事務局でまとめた資料１に、さらに付け加えるべきことがあるかもしれないし、または資料１から削るべきことがあるかもしれない。今後、検討を進めていく際の課題である。
- 委員
 - ・ どこを採用してどこを削るべきかを、分科会の委員から世話人に任されていることになるが、非常に重い責任を感じる。
- 委員
 - ・ 市民が読んでわかるようにしなければならないことに注意する必要がある。
- 委員
 - ・ この提言書検討委員会でどこまで作業するのか、提言書のイメージを早い段階で整理し、それから議論に入りたい。わかりやすさを考えると、逐条解説も重要で、提言書の欄外に入れるというような工夫が必要ではないか。逐条解説は、宇都宮らしさを表現したところがわかるように書いても良いのではないか。
 - ・ また、提言書検討委員会の４回目に今までの議論を総括することもあって良いのではないか。
- 委員長
 - ・ 提言書は、例えば市民との意見交換会等の場で、これを読んだ市民から意見を提出してもらうという役割もある。市民にわかってもらうための構成をとることが非常に重要である。
 - ・ この提言書検討委員会では、考える会議全体が意思統一した結果、提出することとなる提言書の素案を作成しなければならない。全体会と提言書検討委員会でやりとりしなければならないこともあるかもしれない。
- 委員
 - ・ 個人情報や事業者の社会的責任等、宇都宮らしさを表現した部分について意見を出してもらうというやり方が良いかもしれない。全体を見て意見を言っしてほしいといっても、なかなか難しい。

3 その他

事務局から、以下について説明

- ・ 片岡委員から寄せられた意見
- ・ 次回日程

4 閉会